

製品安全データシート

Uncontrolled Copy

PPG DCC9300 ブラック

Infosafe IC0D1 発行日 OCT 2014 Status 発行 by
No. PPGAUST

危険有害性の認定あり

1. 製品及び会社情報

製品名 DCC9300 ACRYLIC URETHANE BLACL
製品コード
会社名 ピーピージー・ジャパン(株)
住所 横浜市港北区新横浜 3-19-5
緊急時電話番号 090-3136-9618
電話 / FA
X番号 Tel: (045)628 9041 Fax: (045)628-9042
別名 該当なし

2. 組成、成分情報

成分	物質名	CAS	含有量
	アクリル樹脂	Proprietary	40-50 %
	酢酸ブチル	123-86-4	20-30 %
	キシレン (PRTR 法第一種指定化学物質第 63 号)	1330-20-7	14.26 %
	メトキシプロピルアセテート	108-65-6	1-10 %
	エチルエトキシプロピオネート	763-69-9	1-10 %
	メチルエチルケトン	78-93-3	1-10 %
	2-ブトキシ酢酸エチル	112-07-2	1-10 %
	2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	0-1 %
	トルエン (PRTR 法第一種指定化学物質第 227 号)	108-88-3	0.99 %

ミネラルスピリット	8032-32-4	0.57 %
メタクリル酸メチル (PRTR 法第一種指定化学 物質第 320 号)	80-62-6	0.07 %
スチレン (PRTR 法第一種 指定化学物質第 177 号)	100-42-5	0.05 %
ジブチルスズジラウラー ト (PRTR 法第一種指定化 学物質第 176 号)	77-58-7	0.01 %

3. 危険有害性の要約

危険有害性の 要約

4. 応急措置

吸入	被災者を暴露区域から移動する。この際、自分自身が被災しないよう注意する。呼吸が困難で患者にチアノーゼがみられる場合は、気管が詰まっていないか確認し、有資格者がマスクを用いて酸素吸入を行なう。呼吸が停止した場合には人工呼吸を直ちに開始する。心臓が停止した場合には、体外心臓マッサージを開始する。医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水でよく口をすすぐ。水を飲ませる。無理に吐かせないこと。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗浄する。汚染された衣服は脱ぎ、再使用する前に洗浄する。刺激作用が起きた場合は、医師の診察を受けること。
目	まぶたを開いた状態にし、直ちに多量の水で 15 分間以上洗眼する。目の汚染については、どのような場合も、念のため医師の診察を受けることが望ましい。
医師への伝達事項	症状に応じて措置する。

5. 火災時の措置

消火剤	二酸化炭素、粉末消火薬剤、泡消火薬剤を使用する。水を噴射して容器を冷却する。
特殊な消火手順	分解物質への暴露の危険がある場合、消火作業者は自給式呼吸器を着用すること。
特殊な火災・爆発の危険有害性	引火性。蒸気/空気の混合気体は、爆発的に発火し、蒸気に沿ってフラッシュバック（逆火）を起こす場合がある。加熱時に膨張ないし分解が起き、容器が激しく破裂することがある。

6. 漏出時の措置

その他の情報	発生源となるものはすべて遮断する。保護具等を着用していない人員は、危険な場所から避難させる。漏出時にはすべりやすい。事故に注意し、直ちに清掃する。適切な保護衣を着用する。排水溝及び水路への拡散・流出による汚染を
---------------	---

防止する。適切な表示のあるドラム缶へ回収・密封し、廃棄する。下水や水路の汚染が発生した場合には、地域の消防署・警察署等の必要な機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱いに関する注意 この製品の使用時には、各自、衛生に十分注意し、喫煙や飲食あるいはトイレの前に、必ず、手を洗うこと。
保管に関する注意 直射日光を避け、涼しい場所に保管する。換気のよい場所に保管する。熱源や発火源から離れた場所に保管する。酸化剤から離れた場所に保管する。

8. 暴露防止及び保護[置

暴露限度	物質名	STEL (mgm3)	STEL (ppm)	TWA (mgm3)	TWA (ppm)	注記
	キシレン (PRTR 法第一種指定化学物質第 63 号)	655	150	350	80	
	メチルエチルケトン	890	300	445	150	
	トルエン (PRTR 法第一種指定化学物質第 227 号)	565	150	377	100	
	メタクリル酸メチル (PRTR 法第一種指定化学物質第 320 号)			410	100	
	スチレン (PRTR 法第一種指定化学物質第 177 号)	426	100	213	50	
	ジブチルスズジラウラート (PRTR 法第一種指定化学物質第 176 号)	0.2		0.1		

暴露に関するその他の情報 暴露基準とは、作業者の呼吸域における特定の物質の平均濃度を指し、現時点での知見では、ほとんどすべての作業者が健康への悪影響や過剰な不快感を経験しないとみなされている暴露の程度を言う。暴露基準には次の 3 種がある：時間加重平均値 (TWA)、天井値、短時間暴露限界値 (STEL)。

吸入 噴霧・ミストを吸入する恐れがある場合は、有機ガス・粒子状物質兼用マスクを着用する。マスク使用時には、空気の潜在的汚染に適合したカートリッジを使用し、正常に機能するか確認する。

目 必要に応じ、安全メガネ、ゴーグル、顔面シールドを着用。

保護手袋 化学物質耐性手袋。

着衣 つなぎ服または類似の保護服。

設備対策 推奨される暴露限度より低い濃度を維持すること。容器は換気の良い場所に置く。蒸気は空気より重い - くぼみやサンプルへの蓄積を防止する。閉ざされた場所に蒸気が蓄積している可能性がある場合は、立ち入らないこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観 Black viscous liquid.

沸点 該当なし。

水への溶解度 無視できる範囲。

比重 0.990

(H₂O=1)

蒸気圧	該当なし。 .
蒸気密度 (空 気=1)	> 1
蒸発率	該当なし。 .
稠度	> 60s Iso6
揮発成分	該当なし。 .
引火点	23-C
引火性	引火性液体。 . 熱源、裸火、火花、酸化性物質から隔離する。 静電気の放電予防措置をとる。 タンク及びドラム缶を含め、工程内の設備はすべてアースを施し固定する。 爆発性気体の滞留を防止するため、十分な換気を確保する。 .
爆発下限界 (LEL)	該当なし。 .
爆発上限界 (UEL)	該当なし。 .

10. 安定性及び反応性

11. 有害性情報

吸入	吸入すると有害である。 . 蒸気は、粘膜及び気管に対する刺激作用を起こす。 . 高濃度による吸入は、中枢神経抑制作用を起こす可能性があり、運動失調や判断力の低減のほか、暴露が長期におよぶ場合は、意識喪失及び死亡にいたることがある。 .
飲み込んだ場 合	口、食道、胃への刺激作用を起こすことがある。 また、嘔吐物が肺に吸引されると、ある種の肺炎を起こすことがある。 .
皮膚に付着し た場合	皮膚に接触すると有害である。 . 皮膚に接触すると軽度の刺激作用を起こす。 . 皮膚に対する脱脂作用がある。 .
目	刺激性がある。 発赤、流涙、まぶたの炎症を起こす。 .
慢性作用	長期ないし反復暴露で皮膚刺激作用を起こすことがあり、皮膚炎にいたる可能性がある。 また、呼吸器の既往症を悪化させることもある。 .

12. 環境影響情報

生態系への影 響に関する情 報	水路の汚染を防止する。 .
-----------------------	---------------

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理方 法	地域の規制を遵守する。 . 引火性について連絡する。 . 通常、認可業者による焼却可。 .
-------------	---

14. 輸送上の注意

輸送に関する	国連分類クラス 3 の危険物に指定。 . 国連分類クラス 3 (引火性液体) 危険物
--------	--

情報	は、標識板付き積載物として、下記のいずれかの物質と混載しない - クラス 1、クラス 2.1 (クラス 3 及びクラス 2.1 危険物の両方が多量に積載される場合)、クラス 2.3、クラス 4.2、クラス 5、クラス 6 (クラス 3 危険物がニトロメタンの場合)、及び、クラス 7。 .
国連番号	1263
運搬時の正式名	PAINT
DG クラス	3
Hazchem コード	3[Y]
包装方法	3.8.3RT1
包装グループ	III
EPG 番号	3C1
IERG 番号	14

15. 適用法令

適用法令 -労働安全衛生法:危険物(引火性の物)、有機溶剤中毒予防規則(第二種有機溶剤を含む物質) . -船舶安全法:高引火点引火性液体(国連分類クラス3) . -原材料物質データベース、日本塗料工業会会 . -国際化学物質安全性カード(ICSC) . -危険防災救急便覧.

リスクフレーズ

R10 引火性。
R20/21 吸入したり皮膚へ接触すると有害である。
R36/38 目及び皮膚への刺激作用がある。

セーフティーフレーズ

S16 発火源から遠ざけること - 禁煙。
S23 ガス、フューム、蒸気、噴霧を吸入しないこと。
S26 目に接触した場合は、直ちに多量の水で洗い流し、医師または毒物情報センターへ連絡すること。
S38 換気が不十分な場合は、適切な呼吸器系保護具を着用すること。
S24/25 目と皮膚への接触を防止する。
S37/39 適切な手袋と目・顔の保護具を着用すること。

危険有害性の分類

Harmful, Irritant

16. その他の情報

規定毒物 規定該当なし

End of MSDS
